

令和元年度事業計画

事業計画方針

令和元年は、石谷家が大正新築工事に着工を開始した大正8年から数えて満100年を迎えます。また、竣工した昭和4年から90年の節目の年になります。今年度はこの記念すべき年にふさわしい取り組みを実施し、石谷家の本物を伝えてまいります。

智頭町及び智頭町観光協会と連携を深め、さらに鳥取県観光連盟にも加入して事業企画及び運営面で新たな視点で事業を行い、顧客満足度の向上を図り入館者増に努めてまいります。

1 役員会

(1) 理事会 (予定)

R1年5月 令和元年度一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団第1回理事会

- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度収支決算報告

R2年3月 令和元年度一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団第2回理事会

- ・令和元年度収支補正予算について
- ・令和2年度事業計画について
- ・令和2年度収支予算について

(2) 評議員会(予定)

R1年6月 令和元年度一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団評議員会

- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度収支決算報告

2 事業内容

(1) 文化美術品展示事業

ア 「坂本章 青瓷の世界」展

中井窯三代目の坂本氏による青瓷の作品。伝統を受け継ぎながら革新と品格を掲げて作陶を続ける工芸作家としての生き方も作品から伝わってまいります。

イ 吉岡幸雄「日本の色」展 (仮称)

イギリス A&V 博物館へ草木染の日本の色を永久保存されるなど日本を代表する染色家。植物からすべての色を創り出す作品の数々は、息をのむほど。東大寺はじめ伝統行事への貢献など、数々の業績を残している京都の染司(そめつかさ)吉岡幸雄さんによる「日本の色」の作品を展示していただきます。

ウ 書の展示

以前、石谷家住宅での作品展示を行った書道家「よしさん」による書の展示。今回は障害を持った子どもたちの作品も一緒に展示をいたします。

(2) 文化施設交流事業

ア 県立博物館移動美術展

鳥取県立博物館所蔵の美術品の中から、素晴らしい作品を紹介します。

(3) 観光振興事業・国際交流事業

ア 石谷家のお雛様展は、今年度は東京へ

毎年恒例行事として全国に発信してきましたが、今年度は東京にあります「目黒雅叙園」へ出張展示となります。
智頭町・石谷家住宅の知名度を高め観光客を増やして参ります。

イ 江戸小袖展

東京へ出張のお雛さまに代わり、徳川時代の大奥にて実際に着用されていた小袖を戦時下においても大切に保管していた個人の所蔵品を借用し展示させていただきます。

ウ 五月人形展

五月人形展が好評であるので、来年度もひな祭りのあと端午の節句に因んだ展示を企画しております。

エ アシックス「オニツカタイガー」展

智頭町出身のアシックスの元役員、植月正章氏のご協力により、今話題の「韋駄天」にちなみ人気の「オニツカタイガー」を取り上げ、走ることを今一度考える展示にしていきます。智頭町の綾木長之助さんにもスポットを当てたいと考えております。

(4) 文化財保護啓発事業

ア 「石谷家住宅 100 年の想い」

今年で、着工からちょうど 100 年になる石谷家住宅の図面や貴重な資料等を展示いたします。

イ 「木地師」藤本かおり木工展

建築を学んだ後は、ろくろを学び、漆塗や蒔絵を学び、その技を極めていっている木地師の作品展です。かつて分業で成り立っていた木地師の世界も現在は困難になりつつあり、その在り方も模索しています。使う木にも、使い方にもこだ

わり森への敬意と感謝を込めた作品の数々を見ていただきます。

(5) 石谷家住宅の管理運営

ア 文化財としての建物及び庭園の管理

庭園特別公開 4・5月・11月

国登録及び鳥取県指定名勝地「石谷氏庭園」の魅力と庭園から眺める石谷家住宅を楽しんでいただきます。

イ 石谷家住宅の施設管理、防火訓練

消火設備設置位置の確認と消火器具の点検

今年度は、文化財防火デーに消火訓練実施予定です。